

## おにの新聞



地域福祉活動グループ NPO「おにの家」

埼玉県熊谷市板井 1220-1

電話 048-536-1344/Fax048-536-1915

<http://onikko.org>

おにっこハウスといえば「手づくりみそ」と「地卵」  
「卵」といえば1年を通じて店頭並び低価格、庶民の味方  
食材といわれていますが近年は鳥インフルエンザやエサの価  
格高騰などで卵の安定価格に影響があります。そんな中、お  
にっこ卵の「裏事情」（お店に卵が並びまでのアレコレ）に興  
味を持たれた方もいたのではないのでしょうか？

おにっこハウスには1,700羽近くの鶏がいます。全16小屋のそれぞれに130~150羽で、全1,700羽。小屋の中はもちろん平飼いで、各々自由に過ごしています（その様子はブログなどでも紹介中♪）。

1年を通じ、気持ちの良い季節もあれば冬の寒い日、夏の酷暑、ジメジメとした梅雨、そんな自然環境をまともに受けます。冷暖房もない環境では、その季節に合わせての対応を細やかにしていくのが大切な仕事です。

小屋を防寒のシートで囲ってあげたり、小屋全体に水を撒いたり、エサも残量の様子をみて気を配ります。鶏さんも気持ちのいい季節（ちなみに卵の旬は春）にはたくさんの卵を産みます（1日1,000個位）。その卵は店頭での販売をはじめ、いろいろな所への配達、販売へとお届けしていきます。が、これからやってくる暑さやうっとうしい梅雨空にはすっかりバテバテで、1日800個位まで減っていきます。店頭にて「完売」のお知らせをする時は、そんな事情があります。

自然が残るおにっこハウス周辺では他の動物も多く生存し、その被害にあうこともあります。その度に様々な対策をしますが防ぎきれずにいる中で、1羽の鶏が被害にあうだけで心が痛みます。鳥インフルエンザで殺処分何羽・何百羽・何千羽という途方もない数字がニュースでさらりと流れる事に、命の重さ向かい方も考えさせられます。

1年365日、その命と向き合い支えているのが養鶏班。

産みだてのホカホカ卵を手にした時は感動的です。1個1個卵を採り、きれいに拭き上げ重さを量ってパック詰めしていきます。それこそ人間も鶏さんと同じく自然環境のど真ん中の作業です。

汗だくになりながら、雨の日は泥だらけになりながら、寒い日はふるえながらの仕事に、同じ職場で働く仲間として感謝の毎日です。

私たちの食卓に欠かせない卵。その卵の背景にはたくさんの人の手間があり、様々な問題を含んでいます。

1個の卵をパカッと割る、その瞬間に、そんな私たちの仕事を少し思い出していただけただけなら嬉しいです。

（松村 理香）



「ちゃぼ」鶏 大輔

## 味噌仕込み班

### ～ 春夏のお仕事 ～

2023年11月から2024年3月のあいだに26タンク（1タンク=920kg）のおにっこ味噌を仕込みました。4月に仕込み場の大掃除をおこない、少しずつ他の片付けやたまっている事務仕事をしながらもほっと一息ついている今ですが…4月以降もやること満載なんです。

麦茶煎りや青とうがらしの栽培は以前の「おにの子新聞」でお話をしたことがありますが、今年は新たなお仕事が。

『鉢花の栽培』です。おにっこハウス店舗では、生産者さんの野菜や切り花の販売はあるのですが鉢花の販売がなく、お客様から要望の声をいただいていたので。そこで我ら味噌仕込み班が花を育てることにしたのです。



5月の今、1回目にまいた種が芽を出し大きなポットに移植し大事に育てているところです。日にちをあけて次の種もまきました。

小さな可愛い芽が出たり大きくなっていく姿を見て日々楽しく栽培しています。とはいえ、私たち鉢花の栽培に関しては素人です。お客様に販売できるくらいまで育てられるか不安なところがありますが、みなさんあたたかく応援してください。

店頭に並ぶ時をお待ちください。

（味噌仕込み班・野部 由希子）



## 喫茶店舗班

### ～ “笑顔と元気” がモットー：喫茶5人の仲間達 ～

個性豊かな仲間達を似顔絵で紹介します。



林さん

キッチンの仕事からレジまでこなすベテランさんです。小さなお子様にもやさしい気づかいでおもてなしです。



石田尾さん

大好きなキャラクターグッズを身にまとい、元気いっぱい接客中。そのパワーにスタッフも元気を注入されています。



五月女さん  
やさしくて  
いつも穏や

かな、まるで陽だまりの様な人柄に知らず知らず皆が集まってきます。優しくされると優しくしたくなる、優しさの連鎖ってステキです。



橋本さん

接客大好き♡

ご来店されるお客様一人一人に笑顔での声かけを大切にしています。お店のテーブルのお花も、いつもきれいに飾ってくれます。



関根さん

おにっこ最年少のイケメン Boy。明るく楽しくスーパーポジティブ♪「みんな仲間、一緒にがんばろう」の言葉に背中押されています。

（喫茶店舗班・松村、湯澤）

カット・SuZuKi



## ハイツ桜ヶ丘

～ 2024・今年はさらに充実させよう♪ ～

新型コロナウイルスの影響で推奨されていたマスク着用が個人の判断に委ねられ、1年が経過しました。昨年はBBQやクリスマス会などのハイツ内での行事を再開することができ、個人の余暇活動も人混みをなるべく避けながら1年を通して行うことができました。今年はさらに仲間それぞれの生活が充実するよう、余暇活動の範囲を拡げ、遠くへの外出や旅行などを実施していきたいと考えております。

そして今年度もそれぞれ色々なところへ出かけたり、おやつ作りをしたり、BBQを行っています。自分の好きなことをする、仲間同士で楽しみを共有する、どちらも楽しくて大切ですよね。みんな花より団子なところが気になりますか…（笑）



余暇活動の範囲を拡げることともうひとつ、生活を充実させる今年のテーマがあります。それは『予定』と『思い出』をつくることです。みんなで予定を考えてワクワクしたり、楽しかった思い出を家族や作業所の仲間に話したり、そんな風に楽しい気持ちで日々を過ごせる1年にしたいと思っています。

みなさま、今年もよろしくお願い致します。

（ハイツ桜ヶ丘・櫻井 秋平）

## インスタやってまーす(・ω・)b

日々の日替りランチに冬の暖炉、春の桜、新緑のテラス席なども一緒にアップ中。お店の情報も発信しています。

@onikkohouse をフォローして下さいネ。



おにっこインスタ

### 《ブログも更新中》

仲間のこと、ヤギのこと、ニワトリのこと、お店のこと、小さな出来事など、いろいろお伝えしています。

## エコ活動 大忙し!!

「チリも積もれば山となる」大作戦で、エコ活動行っています。

新聞、ダンボール、アルミ缶と皆様のご協力を得て大忙し。仲間とペアで車1台詰め込んでLet's go!

「今日0kg 積んだ!」と、その成果を誇っています。

これからも引き続き、ご支援よろしくお願いします。

こちらの収益は、おにっこハウス建設の借入返済に充てております。



## 🌸 お庭作りのボランティアさん 🌸

いつもきれいに色とりどりのお花が咲いているおにっこハウスの庭ですが、手入れをして下さる方がいてこそその美しさです。

熊谷の暑い夏も、木枯らし吹く寒い冬も、雑草取りや水やり種まきなど、1年を通じて庭づくりを支えて下さっています。

育てた樹木を時々ヤギが食べてしまっ

「ギャー!!」ということもあり

ますが…。

おにっこハウスの応援団です。

感謝♡



## ＝ 避・難・訓・練 ＝

「2024.1.1」

1年の始まりのその日に、能登半島大地震が発生しました。

「災害はいつ来るかわからない」ですが、お正月の1日に来た地震に、その事実を体感した年明けとなりました。

おにっこハウスでは年に2回避難訓練を行っています。主に火災に際しての訓練で消火器を使用しています。皆もその扱いにすっかり慣れ、素早く消火できる様になりました。

今回の能登地震では、福祉避難所の在り方もメディアなどで取り上げられました。

災害大国とも言える日本、いくつかの大きな震災を経てハンディのある人の災害時の過ごし方も、少しずつですが考慮されてきた様です。おにっこハウスも福祉避難所としての認定を受けています。いざという時の為に、準備・確認していく事の大切さを感じています。



## 編・集・後・記

夏の酷暑、各国で広がる紛争、様々な影響で食品はもちろん味噌の原材料となる大豆やお米、鶏さんのエサなど、ため息をつく間もないスピードでの価格高騰に追いついていけません。今年の夏も「暑い」という予報が出ていますが…。

心配、不安な情報が多い日々ですが、だからこそ1個の卵、1杯の味噌汁、美味しい食事にしあわせを感じられる心を持って生活を送りたいです。

(松村 理香)